

夏休みの予定に悩む小学生ママ必見！親子で楽しみながら学べる『防災おでかけ』は自由研究にも◎

実際にママ&子どもで行って見た体験を詳しくレポート！無料で楽しめるスポットも紹介

TAG株式会社（本社：東京都練馬区、代表取締役：北尾幸弘/嶋田紀之）が運営サポートするママ向け防災メディア『いつもしも（<https://itumosimo.jp/>）』は、2024年の夏休み企画として「親子で楽しく学べる防災おでかけスポット5選」をママ向けページに、「防災おでかけしてみよう」を子ども向けページにそれぞれ公開しました。



コンセプトは、夏休みのすきま時間で楽しくプチ親子防災。

「せっかくの夏休みだからどこかに連れて行ってあげたいけど、遊んでばかりで大丈夫かな？」

「学びも大事だけど、楽しくないとやってくれなさそう…。」

と、頭を悩ませているママやパパ達に向けて、『楽しい』と『学び』が同時に叶う防災おでかけプランを考案しましたので、夏休みのスキマ時間にぜひチャレンジしてみてください。

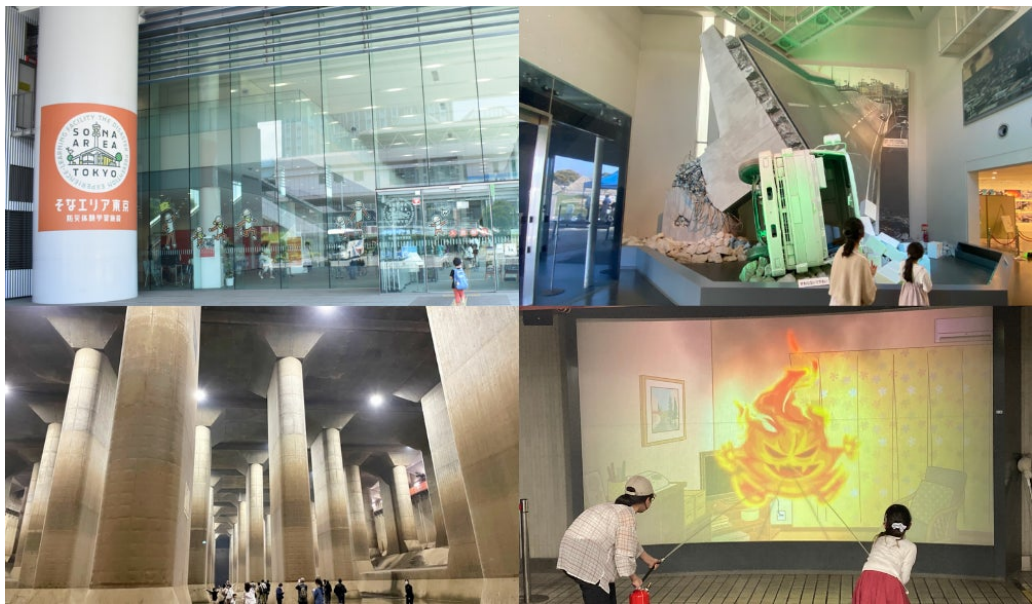
• 防災おでかけとは

近年は小学校でタブレット学習が行われていることもあり、子どもでも簡単にインターネットで情報が得られるようになりました。

そのため、「授業で防災情報について調べた事がある」という子ども多いのではないのでしょうか。

防災おでかけは、そのようなインターネットで得た知識を「親子で体感」することが一番の目的です。実際に足を運んでこそ味わえる体感がプラスされ、子どもはもちろん、大人側の防災意識を高めることにも繋がります。

● 【ママ向けページ】 ママライターが親子の体験レポートを紹介



このページでは「いつもしも」のママライター達が、親子で実際に体験してきた5つの防災スポットを紹介しています。
 防災情報をはじめ、行ってみたいわかった事や子どもの感想、ママが気になる周辺情報やランチ事情などについてもレポートしています。

● 【子ども向けページ】 簡潔でわかりやすい構成に

 **どんなところへおでかけするの？**

防災に関係がある場所には、さまざまなところがあります。
 たとえば、次のような場所です。

防災の基本を学ぼう！ 防災学習(教育)センター



名前のとおり、防災の基本を学んだり、体験することができる施設のことです。
 地域によって「防災センター」や「防災館」など、よび方は変わりますが、どこも住んでいる地域が運営しています。



災害が起きた場所をそのまま残し、そこから学べることを伝えるものもあります。
 大きな地震の原因となった断層をそのまま残している記念館や、その地域で発生した地震や津波、洪水などを伝える自然災害伝承碑です。
 以前にその場所でのような災害があったのかを目で見て、知ることができますね。

 **自然災害伝承碑は、大きな石に文字を彫ってあることが多いです。**
 また、社会科で習う地図記号でも表されます。家のまわりにもあるかどうか、地図で探してみましょう。





自然災害伝承碑

子ども向けページ「防災おでかけに行ってみよう」は、言葉使いや文章の長さなどを調整し、小学校3年生前後から自分で読めるような内容としています。

また、防災用語に関しては漢字も含めて覚えられるよう、難しい漢字もそのまま掲載しました。その代わりに「ルビ」を振る事で、読み方がわかるようにしています。

また、「防災施設に行ったことがない」「どういう所なのか想像できない」という子どもでもイメージが湧きやすいよう、防災施設とはどういった場所を指すのか、画像と共に具体例を挙げて紹介しています。

- いつもしもオリジナル『防災まなべるマップ』も同時公開



行きたいエリアの防災施設を探したい時にオンラインですぐ使えるよう、オリジナルの全国防災施設マップを作成しました。

自宅から行ける範囲はもちろん、お出かけ先や帰省時の寄り道など、様々なタイミングでぜひご利用下さい。

▼ママ向けページ

【体験レポあり】行ってみてよかった！親子で楽しく学べる防災おでかけスポット5選

https://itumosimo.jp/bosai_excursion/

▼子ども向けページ

防災おでかけに行ってみよう

https://itumosimo.jp/withKids/bosai_excursion/

▼いつもしもオリジナル『防災まなべるマップ』

https://itumosimo.jp/bosai_excursion/#map

『いつもしも』企業・自治体向けメディア紹介ページ

<https://itumosimo.jp/aboutus/for-business/>

